

課題

小・中・高等学校において、スピーキングにおける即興性を段階的に高める指導を実践し、それを共有するために、異校種の教員間の協働を図る。

具体的な取組と工夫

■石巻地区の小中高の英語教育の実態の把握

- (1) 県域で整備されているGoogle Classroomおよび共有ドライブを活用し、協力校との定期的な授業動画の共有。
- (2) 小中高それぞれの教科書を読み合っの意見交換。
- (3) 対面での授業見学を、小中高それぞれで1回実施。

■学習指導要領に基づき、小中高で共通した指導観の共有

- (1) 「目標と指導と評価の一体化」の視点で、小中高それぞれでパフォーマンステストを実施。
- (2) 定期的なアンケートの実施と、生徒の言語活動の様子を動画で記録し、生徒の変容を共有。

■公開授業及び外部専門機関と連携した英語指導力向上に係る研修会を実施

講師：朝日大学 教授 亀谷 みゆき 先生

演題：「小中高をつなぐ～英語を使って何が出来るようになるか～」

■過去に小中高連携事業を行っていた秋田県立由利高等学校及び国際教養大学を視察。

2022_石巻地区小中高連携【英語】



成果

- ICTを活用したことにより、「移動」を伴わずに授業を共有することができ、さらに関係校のすべての教員が、都合の良い時に授業を見学することができた。
- 小中高それぞれの教科書では、何を学習し、どのような言語活動が設定されているのかを読み合うことで、系統性のある指導について指導観を共有した。
- 共有した指導観に基づき、小中高それぞれでパフォーマンステストを実施することで、小学校から高校までの間で、段階的にスピーキング能力を高める具体的な事例を共有することができた。
- アンケート結果(石巻高校1学年対象) ※以下「強くそう思う」、「そう思う」の割合
 - ・英語の授業は楽しいと思う。 59%(4月)⇒64%(2月)
 - ・1年間で英語力が向上したと思う。 75%(2月)
 - ・英語を学習する上で、パフォーマンステスト(以下PT)は必要だ。 70%(2月)
 - ・PTで測られる能力は、社会生活において役立つと思う。 67%(2月)
 - ・PTの内容は面白いと思う。 53%(2月)

課題及び改善案

■課題

- ・コロナ禍で困難であった、小中高の生徒同士が交流できる体験的な学習の機会を作り出すこと。
- ・協力校にとどまらず、石巻地区および宮城県内の学校へ、本事業の実践で得た学びを波及させること。

■改善案

- ・「移動」を伴わずに生徒同士の交流を可能にするICTの活用の推進。
- ・それぞれの校種における横のつながりの中での積極的な情報発信。